

# The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

October  
ISSUE



October, 2020

Volume 106

## Message from the Vice Head of Schools

【新島襄の足跡を辿って】 下北半島、風間浦村

新島襄の足跡を辿る旅は、6年生が修学旅行として、9月末から10月初旬にかけてアメリカを訪問して実施しているのですが、残念ながら今年はそれが叶いませんでした。その代わりに、状況が許せば、来年の春に、日本国内での新島の足跡を辿る旅行が行えるよう計画を進めているところです。

さて、新島が日本を脱国したのは、1864年6月14日、函館から、ベルリン号で上海に向かったのがその始まりでしたが、函館に至るまでは、江戸から「快風丸」という船で太平洋側を航海しました。その途中、津軽海峡を渡るため、風待ちをして休養を取ったのが、下北半島にある青森県風間浦村の港でした。



今回、この地を訪れる機会に恵まれ、その場所を見学してきました。そこには記念碑が建てられ、「同志社創立者 新島襄先生 寄港の地」の文字が彫られ、解説文には1864年4月18日～20日に寄港し、温泉で休養を取られたとの記述がありました。

この風間浦村とは、今も交流が続き、風間浦中学の生徒は毎年京都を訪れ、新島襄を学んでいます。私自身も京都市内で一行をお迎えしたことがありますし、一昨年には、村の関係者がこのDIAを見学に来られました。新島襄から広がる輪が、こんなところにもつながっており、神の見えざる手の神秘さを感じます。



その新島が、41歳の時静養を兼ねてイタリア、アメリカで滞在した際、「異国を想う」という随想を記しています。この随筆には、新島の教育者・宗教家としての考えが綴られており、その一部は岩波文庫版「新島襄自伝」にも収められています。新島はその中に次のような言葉を残しています。「常に誠実、かつ真実であれ。大胆に自信を持って発言、行動せよ。真実を語り、正義を行うことを恐れたり、細心過ぎたりしてはならない。」また、「人の偉大さは、学識だけではなく、私心のなさに現れる。」とも述べています。新島自身、私心のない謙虚な人物であったことは、周囲の人々の共通する評価です。それゆえ多くの人々から信頼され、尊敬されたのだと言えるでしょう。だからこそ、Hardy氏の加護を受け、アメリカの3つの学校で学び、アーモスト大学のジョンソンチャペルに肖像画が掲げ続けられているのだと言えます。そして何より、日本に戻った後、当時の教育に新たな風を吹き込むべく、全身全霊をかけ、同志社の設立に奔走し、多くの人々の協力を得て同志社大学設立に邁進した新島には、真実と正義に根ざした高い志がありました。

学校に目を転じると、暦は10月に入り、2020年度もいよいよ折り返し地点を過ぎたこととなります。各学年では短縮授業を継続させつつも、7時間目の授業が復活しました。今後は、児童主体の教科横断的な探究の学びを一層充実させ、その成果を12月の3者面談で共有出来るよう、感染対策と共に取り組んで参ります。

副校長 城 恵市



## キリスト教 教育テーマ 10月：誠実 October: Honesty

「賢いおとめたちは、それぞれの灯と一緒に、壺に油を入れて持っていた。」

マタイによる福音書 25 章 1-13 節 (聖書協会共同訳)

秋も徐々に深まり、そろそろ灯りの恋しい季節になってきました。今は LED の発明によって、安定した明るさ  
がかなり長時間享受出来るようになりましたが、聖書の時代の人々は、なかなか大変でした。何しろ平たい器  
の中に油を満たし、そこに浸した紐の先に火を灯しただけの簡単なランプは、よくもって三時間というところ  
だったので、もし長時間灯りを灯したい場合は、予備の油を準備しておくことが必要不可欠だったのです。

先月、2年生の宗教の授業では「賢い選択」というテーマで、聖書の中では何を選び取る人が賢いと考えられて  
いるのかを、幾つかの物語を通して考えてきました。そのうちの一つが上掲の聖句を含む「十人のおとめ」のた  
とえ話です。

聖書時代の結婚式は花婿の到着時間が全く知らされず、場合によってはそれが真夜中になることもありま  
した。ここでいう「十人のおとめ」とは花嫁ではなく花嫁付き添いの娘達のことですが、辺りが暗くなってから花婿が  
訪ねて来ても困らないように、全員灯を持って待機していました。ところが花婿の到着があまりにも遅いので、  
皆眠り込んでしまったといひます。一そう、十人が十人ともです。賢いおとめ達だけが目を覚ましていられた、  
というわけではありません。

では、その賢さの違いがどこで現れたかという、それは予備の油を持っていたかどうかです。待っている時  
間が長くなれば当然眠くもなるし、手持ちの灯は消えかかります。しかし予備の油があれば、それを注ぎ足して  
再び灯を灯し続けることができるのです。

この「油」が何を意味するのか、いろいろな解釈の仕方がありますが、一つヒントになることは、灯が必要な  
のは夜であって、明るい昼間ではないということです。昼間は誰でもはっきりと物が見え、安全に歩くことが  
できます。しかし暗い夜にしっかりと歩みをするためには、どうしても灯の助けが必要です。

私はこれを子ども達に当てはめると、学んだ知識や教養、良識ということになるのではないかと考えます(4年  
生の「シンボル」の学習では、同志社のシンボルマークが表す知・徳・体について学びました)。学校で学んだこ  
とは今すぐ役に立つ、という内容ばかりではありません。学習内容が抽象的概念であればあるほど、「一体何の役  
に立つのか。」と、首を傾げたくなることもあるでしょう。しかしながら、世の中が、自身の人生が、何かの拍子  
に「暗い！」と感じて焦ってしまうことがないとは限りません。そのような時に「油」の貯えがある人は、一旦  
手持ちの灯が消えかかっても、すぐに落ち着いて灯を灯すことができるのです。

聖書の中には知恵の言葉が豊富にあり、人を正しく導き諭し、また癒す物語で溢れています。私は聖書の言葉  
が特に子ども達の強力な「油」となれるよう、日々の礼拝や宗教の授業を大切にしていきたいと思っています。



Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓



### <お知らせ>

- ・10月のおにぎり献金は、10月13日(火)です。  
※感染症予防のため、献金は袋に入れてお子様にお持たせください。ご協力をよろしくお願い致します。
- ・聖書の会のお誘い  
日時：10月19日(月)9時45分より  
講師：森田喜基氏(同志社大学キリスト教文化センター准教授)  
※この度はZoomでの開催となります。どなたもご自由に、奮ってご参加ください!

新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる対応について

## 秋学期後半の行事及び校外学習について

新型コロナウイルスの感染拡大の第2波は、大きなピークは過ぎた感がありますが、一方で経済活動の緩和が進み、予断を許さない状況が続いています。加えて、気温が下がり、秋になってから警戒しなければならないのが、インフルエンザの流行です。

医療機関の方々の話によると、風邪とインフルエンザ、そして新型コロナウイルスに感染した際の症状はとてもよく似ているようで、判断が難しいことが懸念されています。さらに人々のコロナ慣れによる感染予防意識の低下への心配の声も聞かれます。

実際、新型コロナウイルスは我々の周辺に着実に近づいてきています。DIAの関係者でも、濃厚接触者として保健所から連絡がきた事例がありますし、だれがいつ感染し発症するかは、いくら感染予防に努めていたとしても全く予想できないのが、今の状況だと言えます。本校でも感染予防を行いながらも教育活動を進めて参ります。ご家庭におかれましても引き続き感染予防に努めていただき、毎朝の検温と健康チェックをお願いいたします。

さて、秋学期前半の行事につきましては、前号で実施は難しいと判断した旨をお伝えいたしました。秋学期後半（11月、12月）の行事につきましても、実施については、厳しい状況が続きます。しかし、感染予防を考慮したうえで何らかの形で実施できないか検討を進めております。

まず、例年盛大に行われていた Halloween は、規模を縮小し、3密を避け、ソーシャルディスタンスを十分確保したうえでの実施を検討しております。

次に同志社にとって大きな意義をもつ、クリスマス関連の行事についてですが、保護者の方や地域の方をお招きし実施することは取り止め、事前に子どもたちの活動を映像に収め、編集した上で、オンラインで公開し、クリスマスを祝うスタイルをとることとします。具体的には、クリスマスツリーの点灯式と3年生が主体となって行っている、ページェントです。例年 SG としてクリスマス関連行事に協力いただいていた皆様には大変申し訳ありませんが、基本的に今年度は、それらの活動を児童と教員が中心となって行うことといたします。

映像の配信に係る詳細は、後日連絡いたします。



## 10月の主な行事・予定

|    |   |                   |
|----|---|-------------------|
| 1  | 木 |                   |
| 2  | 金 |                   |
| 3  | 土 |                   |
| 4  | 日 |                   |
| 5  | 月 | Buffer week 健康診断  |
| 6  | 火 |                   |
| 7  | 水 |                   |
| 8  | 木 |                   |
| 9  | 金 |                   |
| 10 | 土 |                   |
| 11 | 日 |                   |
| 12 | 月 | Unit4 (week 1)    |
| 13 | 火 | G6 ゲストティーチャー      |
| 14 | 水 |                   |
| 15 | 木 | 歯科検診 G6 ゲストティーチャー |
| 16 | 金 |                   |
| 17 | 土 |                   |
| 18 | 日 |                   |
| 19 | 月 | Unit4 (week 2)    |
| 20 | 火 |                   |
| 21 | 水 |                   |
| 22 | 木 |                   |
| 23 | 金 |                   |
| 24 | 土 |                   |
| 25 | 日 |                   |
| 26 | 月 | Unit4 (week 3)    |
| 27 | 火 |                   |
| 28 | 水 |                   |
| 29 | 木 |                   |
| 30 | 金 |                   |
| 31 | 土 | Halloween         |



### 【一部バスの発車時刻変更について】

\*10月5日より、7時間目終了後の登美ヶ丘便のスケジュールを5分、後ろにずらします。この変更は安全上の為で、お車での迎えの方とバスの発車との重なりを回避するためです。

変更前 15:20 発 → 変更後 15:25 発へ

変更前 15:25 発 → 変更後 15:30 発へ

ご理解とご協力をお願いいたします。